

会議結果報告書

令和2年7月16日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和2年6月30日(火) 午前10時~正午
開催場所	市民会館302会議室
出席委員	井上國夫委員、深瀬克委員、上野守嘉委員、新田泰男委員 (計 4人)
欠席委員	金子博一委員 (計 1人)
説明員職氏名	生涯学習課 山本課長、浅見主幹、武井主査 (計 3人)
議 題	大小合併門樋の保存について(諮問)
結 果	引き続き審議し、答申をまとめることとなった。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 山本課長、浅見主幹、武井主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

大小合併門樋の保存について

〈説 明 員〉

資料により説明

〈質疑応答等〉

委員) なぜ今なのか。もっと早く知らせてほしかった。

事務局) 協議中であり、調整を図っていたため遅くなり、申し訳なかった。

委員) 生涯学習課とともに、文化財の保存を進めていきたいと考えているので、可能な限り情報を共有して進めていきたい。

委員) 復元の方法は議論できるのか。

事務局) 取り出せた煉瓦の状態が変わるので、今は何とも言えない。

委員) 復元の時には、審議会で協議してほしい。

委員) 保管場所や復元場所の案はあるのか。

事務局) 保管場所は総合福祉センター駐車場を考えている。

委員) 下流側だけでなく、上流も保存すべきである。

委員) むじな橋はどうか。

事務局) 工事はかからない。

委員) 排水路の別のルートは考えられないのか。

事務局) 今となっては、それは無理である。

委員) 上流下流の面壁翼壁を残すべき。

委員) 現状で残せないのは、仕方ない。

委員) 後世に引き継いでいく責任。できるだけことはすべきである。

会長) 各自よく考え、次回まとめていくこととしたい。

4 閉 会